

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 30 日 (2012.8.30)

【公表番号】特表 2011-530089 (P2011-530089A)

【公表日】平成 23 年 12 月 15 日 (2011.12.15)

【年通号数】公開・登録公報 2011-050

【出願番号】特願 2011-521175 (P2011-521175)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 5/30

G 0 2 F 1/1335

B 3 2 B 27/00 N

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 9 日 (2012.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

補償フィルムと

前記補償フィルムと接触する導電層と、

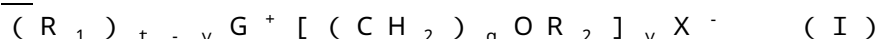
前記導電層と接触する静電気防止性光透過性接着剤と、

を含む静電気防止性構造物であって、

前記静電消散剤が、スルホンアミド、イミド、メチド、ホウ酸、I V b ~ V I I b 族、V b ~ V I b 族由来のオニウムカチオン、アンモニウム、ホスホニウム、スルホニウム、リチウム、ナトリウム、及びカリウムから選択されるイオンを含むイオン性塩を含む、構造物。

【請求項 2】

前記イオン性塩が式：



[式中、各 R_1 は、アルキル、シクロアルキル、アリール、アラルキル、アルカリル、アルシクロアルキル (arcycloalkyl)、又はシクロアルカリル (cycloalkaryl) 部分を含み、前記部分は、窒素、酸素、イオウ、リン、又はハロゲンから選択される 1 つ以上のヘテロ原子を含み；各 R_2 は水素又は R_1 として上述した前記部分を含み；G は窒素、イオウ、及びリンから選択され；G がイオウである場合 t は 3 であり、G が窒素若しくはリンである場合 t は 4 であり；G がイオウである場合 v は 1 ~ 3 の整数であり、又は G が窒素若しくはリンである場合 1 ~ 4 の整数であり； q は 1 ~ 4 の整数であり；X は弱配位有機アニオンである] を含む、請求項 1 に記載の構造物。

【請求項 3】

前記静電消散剤が式：



[式中、各 R_3 は、独立して、アルキル、脂環式の、アリール、アルカリル、又はアラルキル部分を含み、 G' は N 又は P であり、 X^- は弱配位有機アニオンである] を有する

前記イオン性塩を含むイオン性塩を含む、請求項1に記載の構造物。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の構造物を含む液晶ディスプレイ。